



令和5年度 府中市立府中第八中学校 学校経営計画

令和 5 年 4 月 1 日
府中市立府中第八中学校
校長 高 汐 康 浩

『学校教育目標』と『目指す生徒像』『目指す学校像』『目指す教師像』

『学校教育目標』

すすんで学び、丈夫なからだで、みんな仲よく

『目指す生徒像』

- ①自他を大切にし、心豊かでたくましく生き抜く生徒【持続可能な社会づくりに向け、自らを高め、多様性を尊重する態度や互いのよさを生かして協働する力（ダイバーシティ・インクルージョン）】（②③）
- ②自主自立の精神を強くもつ生徒【自己実現】（①）【実践力】（③）
- ③礼儀（あいさつとことば）正しく思いやりのある生徒【リーダーシップやチームワーク、感性、優しさなどの人間性】（②）

『目指す学校像』

- ①生徒も教職員も「生命の尊さ」を深く理解し、安全で安心して生活できる学校
- ②生徒も教職員も「学ぶ喜び」を享受できる学校
- ③生徒も教職員も将来の夢や目標の実現に向けて生き生きと活動できる学校
- ④伝統と創造を重んじ、生徒・保護者・地域・教職員が共に支え合う学校

『目指す教師像』

- ①人権尊重を第一に生徒一人一人の良さを発見する眼、受けとめる心、語り合える言葉を大切にせる教師
- ②専門性、指導力を磨き合い、組織としての対応力を高め合う教師集団

はぐくむべき資質・能力

社会生活における課題や問題を自ら発見し（①）、他者と協働して解決しようとする態度（②）や新たな考えを創造し実行しようとする力（③）（数字は目指す生徒像との関係を表す）

教育ビジョンと重点的にはぐくむ8項目

《各教科等教育指導ビジョン》…【別紙】参照

《重点的にはぐくむ8項目》

- 豊かな知性・感性・社会性の育成
- 自己実現力（自己選択、自己決定、自己指導能力）の向上
- 規範意識の向上、基本的生活習慣の確実な定着
- 自ら考え表現する力の向上
- 自己肯定感、自己有用感の向上
- 主体的に学びに向かう力の向上(家庭学習定着・読書活動推進)
- 自治的能力向上（生徒会活動、学級活動等）
- 府中八中での地域防災等地域の安全を守る力の向上

本校の現状と教育活動実践課題

現状・・・（学習面） ・将来の夢や目標をもって学習に取り組んでいる生徒の割合…91％
 ・自主的に家庭学習に取り組んでいる生徒の割合…70％
 ・道徳の授業にしっかりと取り組んでいる生徒の割合…91％
 （生活面） ・規範意識をもって生活している生徒の割合…92％
 ・安全な生活をしようとしている生徒の割合…97％
 ・いじめにあってり嫌な思いをしていない生徒の割合…82％
 （令和4年度全国学力・学習状況調査） ・国語平均正答率…全都比＋4ポイント ・数学平均正答率…全都比＋5ポイント ・理科平均正答率…全都比＋4ポイント

課題・・・デジタル技術をフル活用した判断力、表現力を支える「見方・考え方」が働くより質の高い授業（教育活動）の実現

課題解決に向けた重点・・・「個別最適化の実現」「デジタル技術活用能力の向上」

領域	中期経営目標	短期経営目標	具体的方策	評価指標等
健全育成	・生命尊重の精神の育成を基盤とした生徒の 自己実現力 （自己指導能力）を高める生徒指導の実践 ・高い人権感覚、豊かな心を培う教育活動の実践	・一人一人の生徒の行動特性や コンピテンシー などあらゆる多くの情報を基礎にした教育活動、生徒指導の実現 ・学校を主体とし、家庭や地域社会及び関係機関等との連携・協力を密にした戦略的教育活動、生徒指導の実現	・教職員向け生徒指導資料の定期的な発行と資料を活用した研修の実施 ・ふれあい月間（いじめ防止等取組強化）の取組の充実（6月・11月） ・生徒指導の明確な方針設定と多角的コンセンサスの実施（スクールカウンセラー、公的機関等） ・地域の小学校、特別支援学校、高等学校と連携した取組の実施	・教職員による整備整美活動、教室巡回（毎日） ・いじめ防止アンケート（学期1回） ・学校を起因とする解決困難な特別指導件数0件の達成 ・教職員向け生徒指導資料の配付、指導（月2回） ・教育活動アンケート肯定的回答90%以上
特別教育支援	・個別最適化と共生社会を目指す ダイバーシティ・インクルージョン の実現 ・障害に対する教職員の専門性を高め、生徒の可能性を最大限に伸ばす教育活動の実践	・一人一人の生徒の教育的ニーズを把握し、多様な学びの場と指導、支援（ ユニバーサルデザイン 等）の充実を行う。 ・障害の有無に関わらない交流、共同学習の場の設定と教育活動を推進する。	・小中連携事業の共通テーマとしての設定 ・サポートルームの効果的運用 ・特別支援教育コーディネーターを中心とした校内委員会の実施と切れ目のない支援体制継続 ・授業での共同学習、学校行事での交流等の実施 ・訪問臨床心理士の活用、医師等専門家の間接的活用 ・学校と家庭の定期的面談の継続実施	・特別支援教育校内委員会（週1回）、不登校対策校内委員会（随時）の実施 ・ダイバーシティ・インクルージョンに関する研修の実施（学期1回） ・継続支援の必要なケースに対応した面談の実施（月1回） ・教育活動アンケート肯定的回答80%以上
健康・安全・体力づくり	・基本的生活習慣を改善・定着させ、運動・スポーツに親しむ元氣な生徒を育成する取組の実践 ・主体的な 安全文化 の啓発と地域の安全文化の構築に貢献できる生徒を育てる 安全教育 の実践	・面談等を活用した個に応じた健康教育を推進する。 ・部活動の取組を通したスポーツや芸術、文化に親しむ取組を推進する。 ・生徒会（生活委員会、保健委員会等）、部活動リーダーを中心に健康・安全への意識向上を実現する取組を推進する。 ・地域等と連携した安全、防災に対する取組を推進する。	・面談等を活用した個別の日常的指導の実施 ・保護者会等を活用した取組の実施 ・部活動では、スポーツや文化に親しむ心身ともに健康な生徒の育成、体力向上、豊かな感性と知性をテーマとした取組を実施 ・東京女子体育大学と連携したスポーツに親しむ取組の実施 ・生徒会等による健康・安全に関する呼びかけ等の実施 ・ファーストエイド及び熱中症対応に関する意図的指導の実施 ・自助の精神を大切にしながら、共助の精神を高める指導の実施 ・地域コーディネーター、地域、CS連携校（福岡・新宮中学校、新宮東中学校）、関係機関、学識経験者、文部科学省総合教育政策局男女共同参画共生社会学習・安全課、日本スポーツ振興センター等と連携した取組の実施 ・地域の小学校、特別支援学校、高等学校と連携した取組の実施	・生徒の記述（日記等）（毎日） ・新体力テストの記録全国平均値以上（特に投げる力） ・部活動加入率の向上（90%以上） ・教育活動アンケート肯定的回答85%以上 ・保健委員会主催健康・安全イベントの検討 ・部活動リーダー熱中症・ファーストエイド等訓練の検討 ・CS連携校、関係機関等と連携した取組（年5回） ・教育活動アンケート肯定的回答85%以上
保護者連携地域	・地域、関係機関等の人的、物的資源等外部資源を積極的に活用した学校主体の教育活動、研究活動、マネジメントの実践 ・ふるさと府中を愛する心を醸成し持ち続ける取組の実践	・スクール・コミュニティ事業を推進し、重点的にはぐくむ8項目の実現に向けた取組を行う。 ・地域の人材・環境・施設等の有効活用を推進する。	・学校運営協議会、スクール・コミュニティ協議会、地域懇談会、学校保健委員会の定期的な開催 ・コーディネーターによる活動の推進（ボランティア活動運営等） ・地域人材を活用したふるさと府中の伝統文化や地域の素晴らしさを学習する取組の推進 ・府中市青少年対策第八地区委員会との連携 ・学校だよりを活用した教育活動情報の発信、協力依頼	・教育活動アンケート（年2回） ・学校だより（「ふるさと府中」特設コーナー等）による発信（月2回） ・スクール・コミュニティ協議会（定例） ・地域懇談会（年1回） ・青少年への参加（定例）
教育特色あがる	・オリンピック・パラリンピック教育の成果の活用と共生・共助社会と持続可能な社会の実現に向けた「 未来へつなぐ府中2020レガシー 」の取組の実践 ・多様な表現活動をとおして、芸術文化のよさを発信できる生徒を育てる 芸術教育 の実践	・ふるさと府中で活躍する人材、ボランティアマインド、和太鼓、豊かな国際感覚を重点的に育成する取組を推進する。 ・合唱指導の充実を図り、生徒の 感性 を高める取組を推進する。	・オリンピック、パラリンピックの成果を活用した国際理解教育の実施 ・オリンピック、プロスポーツ選手等によるスポーツ指導、講演会等の実施 ・日本の伝統・文化体験の実施 ・グローバル教育の展開 ・学校行事等の歌唱指導の充実 ・合唱コンクールの充実	・講演会等の実施（年1回） ・プロスポーツ選手等専門家による運動指導（年間） ・教育活動アンケート肯定的回答80%以上 ・歌唱指導の充実（学校行事等） ・教育活動アンケート肯定的回答80%以上
働ける方改革	・教職員の心身の健康の増進 ・教職員としての誇りやりがいをもって職務に専念できる環境の整備 ・学校の教育活動の質の向上	・副校長等校務改善支援事業の活用及び効果的実践 ・学校経営支援事業による専門スタッフの活用及び効果的実践 ・地域コーディネーターの活用と効果的実践	・教職員の在籍時間の短縮と効率的な職務遂行の実施 ・教職員の自己管理能力の向上 ・効率化を目指す校務分掌の検討 ・ICTの効果的活用 ・地域コーディネーターがより積極的に経営に参画できる体制整備	・教職員の過当たりの在籍時間の縮小（60時間未満） ・学校行事、学習支援事業、各種検定における地域コーディネーターのコーディネート実施
服務規律	・服務規律の徹底 ・服務の厳正	・非違行為による服務事故0の継続 ・教育公務員としての不適切な言動0の継続	・特設する 服務事故防止研修 の実施（教育委員会） ・特設研修と関連させた定期的、日常的な服務事故防止研修の実施（校内）	・学校の自己評価該当項目肯定的回答100% ・職員朝会等での校長作成資料を活用した特設研修を実施（学期始め、学期末） ・職員朝会等を活用した日常的研修の実施（特設研修後1週間） ・市内ヒヤリハット事案を活用した研修の実施（事案発生後すぐに） ・教職員向け校長通信（「知っておくと便利」）を4月は5回、以降月2回以上発行し非違行為に対する意識を高めるための研修実施

※キーワードとした文言に下線を引きました。